

関係各位

高知県病害虫防除所長

令和7年度病害虫発生予察技術情報資料(第6号)の送付について

---

カンキツのミカンハダニの発生に注意しましょう

カンキツのミカンハダニの発生状況について、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導の参考にしてください。

記

カンキツのミカンハダニは夏から秋期にかけて密度が増加すると、急激な落葉を引き起こします。また、秋期に果実が加害されると着色の遅れや光沢が無くなるなど、収穫果実の品質が低下するため注意が必要です。

8月の調査では、温州ミカン(中央部)での発生面積は平年並でした。中晩柑類では、県下全域で発生が見られ、発生面積は東部、西部で平年より多く、中央部でやや多く、中西部で平年並でした。9月の気温は平年より高く、晴れの日が多いと予想されていることから、発生は増加し、発生が少なかった地域においても現状より増加すると考えられます。

○防除のポイント

- (1) 夏、秋期共に雌成虫が1葉当り0.5頭で、増加傾向の見られた時が薬剤防除の適期である。また、冬期(12月～1月)にはマシン油乳剤を必ず散布する。
- (2) 殺菌剤との混用は防除効果を低下させ、防除回数が増加する場合があるので行わない。
- (3) 薬剤散布は葉の表裏に十分散布する必要があるため、あまり細かい霧となる噴口は使用せず、太目の霧で吐出量が多く噴出圧の強い噴口を使用する。散布量は成木園で10a当り500L以上を散布する。
- (4) 同一薬剤の連用は薬剤抵抗性発達を促すため、同一薬剤は年1回の使用にとどめ、異なった系統の薬剤によるローテーション防除を心がける。

なお、防除にあたっては、農薬安全使用基準の遵守及び周辺の農作物への飛散防止対策について指導の徹底をお願いします。



写真1 ミカンハダニ(雌成虫)



写真2 ミカンハダニ被害葉

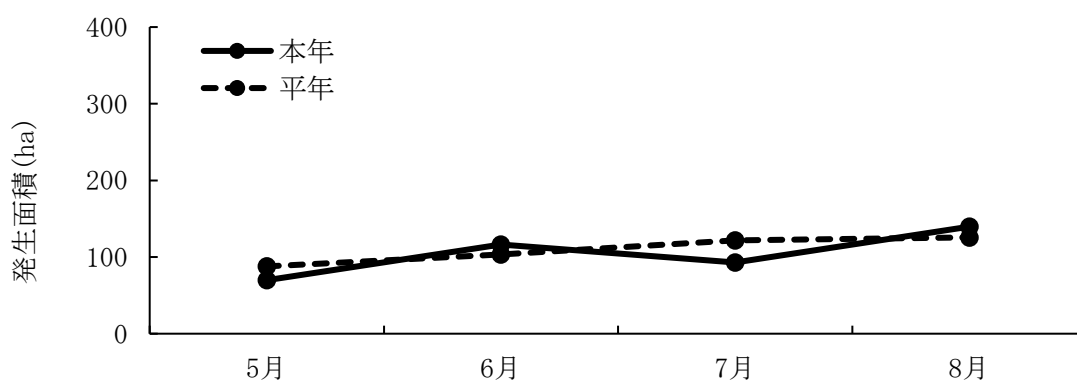


図1 温州ミカン(中央部)でのミカンハダニ発生面積

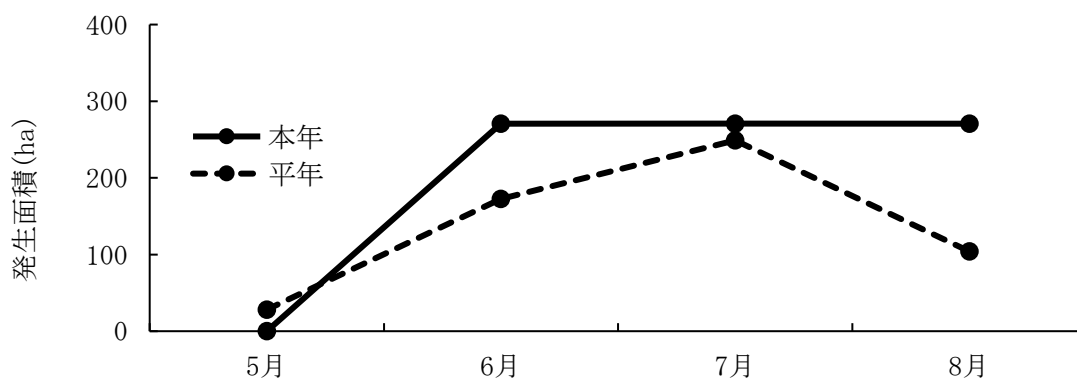


図2 中晩柑(東部)でのミカンハダニ発生面積

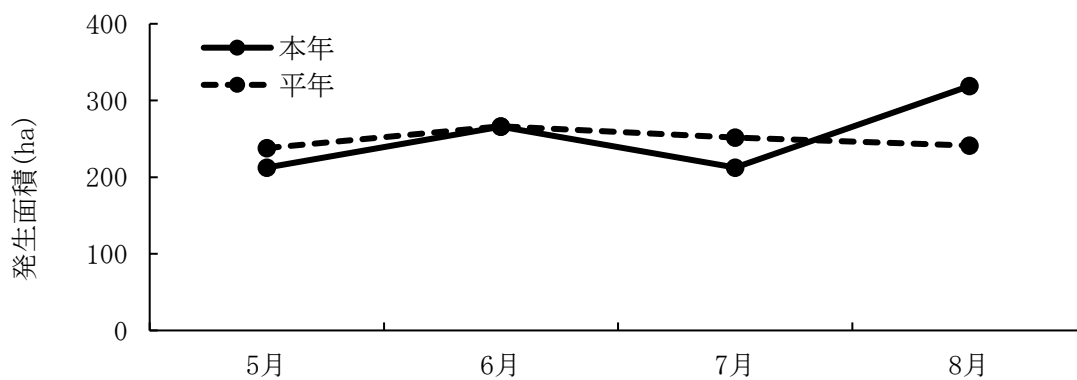


図3 中晩柑(中央部)でのミカンハダニ発生面積

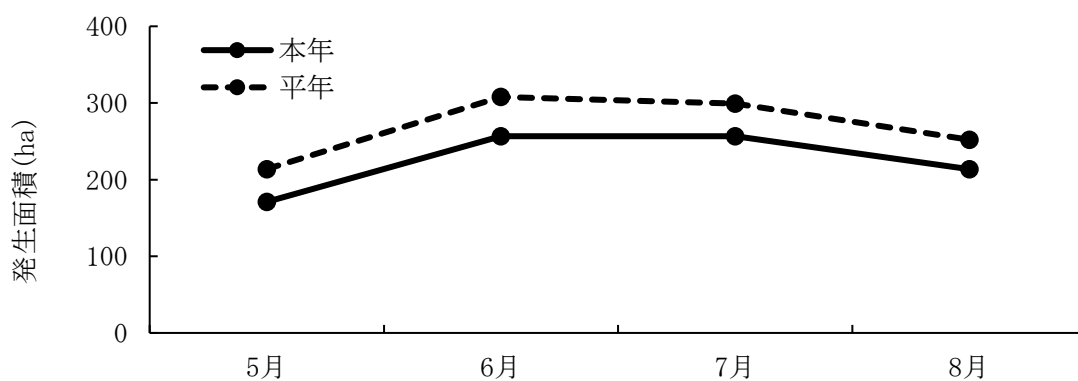


図4 中晩柑(中西部)でのミカンハダニ発生面積

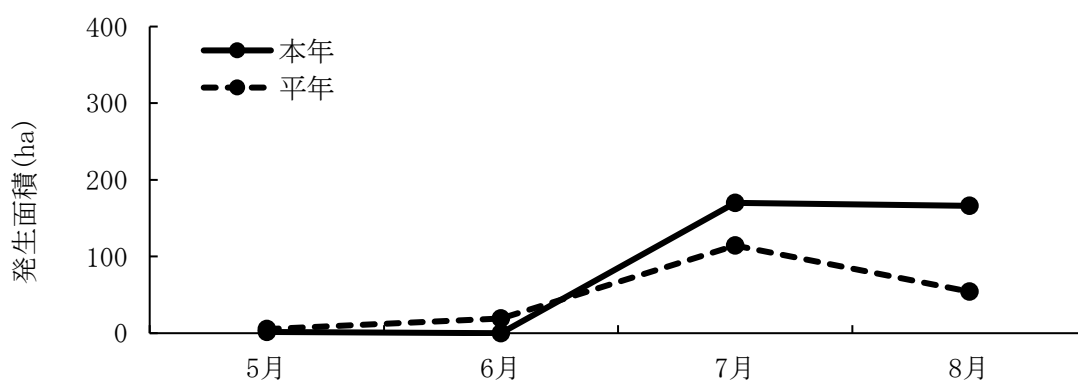


図5 中晩柑(西部)でのミカンハダニ発生面積

#### 各地域の区分

|     |                                                |
|-----|------------------------------------------------|
| 東 部 | 安芸市、室戸市および安芸郡の町村                               |
| 中央部 | 高知市、南国市、香美市、香南市、長岡郡・土佐郡の町村、吾川郡いの町<br>および高岡郡日高村 |
| 中西部 | 土佐市、須崎市、高岡郡(日高村を除く)の町村および吾川郡仁淀川町               |
| 西 部 | 四万十市、宿毛市、土佐清水市および幡多郡の町村                        |

お問合せは、病害虫防除所(TEL：088-863-1132)または環境農業推進課(TEL：088-821-4861)まで